

<特集「他動性」>

コリマ・ユカギール語の他動性 Transitivity in Kolyma Yukaghir

長崎 郁
Iku Nagasaki

名古屋大学
Nagoya University

要旨： 本稿は、『語学研究所論集』第19号（2014）の特集「他動性」における調査項目に対するコリマ・ユカギール語のデータを提示する。

Abstract: This paper provides Kolyma Yukaghir data for the questionnaire from the featured theme “Transitivity” in *Journal of the Institute of Language Research*, Vol. 19 (2014).

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002001053>

キーワード： コリマ・ユカギール語, 他動性

Keywords: Kolyma Yukaghir, Transitivity

1. はじめに

本稿は、『語学研究所論集』第19号（2014）の特集「他動性」における調査項目に対するコリマ・ユカギール語のデータを提示する¹。提示するのはこの特集のために聞き取り調査を行なった結果ではなく、当該の調査項目に対する例に該当すると考えられる例を筆者が個人的に作成しているコーパスから選んだものである。そのため、一部の調査項目に対しては該当例を見つけることができず、その場合は「不明」とした。コーパスデータには、筆者が1997年から2007年にかけて行なった現地調査で得た母語話者による作例、出版されたフォークロアテキスト（Maslova (2001), Nikolaeva (1989), Nagasaki (2023) など）が含まれる。フォークロアテキストからの例には出典を付す。

2. データ

以下、各調査項目について、アンケートに示された例文、それに対するコリマ・ユカギール語の例を挙げる²。各々の例にはそれが自動詞文なのか他動詞文なのかを付記するが、その判断基準につい



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス（CC-BY）下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ 本研究は科研費（課題番号 23K00480）の支援を受けたものである。

² グロスに使用した略号のうち “The Leipzig Glossing Rules” の略号一覧にないものは次の通りである：AN: action nominal, BDYP: body part, APPL: applicative, DETR: detransitiviser, E: epenthesis, ESS: essive, HBT: habitual, INFER: inferential, INTERR: interrogative, OF: object focus, PROP: proprietive, Rus.: Russian word, SS: same-subject converb, TRANS: translativ.

て簡単に説明しておく。この言語では、直説法の屈折語尾のパラダイムが自動詞 (INTR) と他動詞 (TR) で異なっており、ほとんどの動詞はどちらの語尾をとるかが決まっている (自他両方の屈折語尾をとりうる動詞もあるが、その数はごくわずかである)。ある文の述語が直説法で自動詞屈折する動詞であれば、それは自動詞文であり、他動詞屈折する動詞であれば他動詞文である。命令法など、直説法以外の屈折語尾には自他の区別はないが、直説法でのふるまいから自動詞か他動詞かを判断することができる。なお、自動詞文でも他動詞文でも主語は主格 (ゼロ格) で現れる。他動詞文の目的語は主格、対格 (ACC)、具格 (INS) のいずれかで現れるが、どの格をとるかは主語と目的語の人称の組み合わせや、目的語の定性といった要因により決まる (詳細は [長崎 \(2014\)](#) を参照されたい)。また、自動詞文と他動詞文は、それぞれ主語焦点文と目的語焦点文と呼ばれる構造をとることがある。このとき、前者では主語が、後者では目的語が焦点標識 (FOC) を伴い、同時に動詞が専用の屈折語尾 (グロスでは SF あるいは OF として示す) をとる。

2.1 直接影響・変化

(1) 調査項目

- a. 彼はそのハエを殺した.
- b. 彼はその箱を壊した.
- c. 彼はそのスープを温めた.
- d. 彼はそのハエを殺したが、死ななかった。(発話可能かどうか?)

(2) titte qorobo-holo kudde-ŋā. 他動詞文

3PL:GEN cow-ACC kill-PL:TR.3

(彼らは) 自分たちの牛を殺した.

(3) tudel mīd'i-le qonroš-u-m. 他動詞文

3SG sledge-INS break-E-TR.3SG

彼は橇を壊した.

(4) met ōži lolho-š. 他動詞文

1SG water boil-CAUS(-TR.1SG)

私はお湯を沸かした.

(1d) のような表現が可能かどうかは不明である.

2.2 直接影響・無変化

(5) 調査項目

- a. 彼はそのボールを蹴った.
- b. 彼女は彼の足を蹴った.
- c. 彼はその人にぶつかった (故意に).
- d. 彼はその人にぶつかった (うっかり).

- (6) tudel šapadaŋil'-e tolt'i-m. 他動詞文
3SG door-INS beat-TR.3SG
彼はドアをノックした.
- (7) tudel met-kele jō-me-ŋin paj-m. 他動詞文
3SG 1SG-ACC head-BDYP-DAT hit-TR.3SG
彼は私の頭を殴った.
- (8) met šapadaŋil'-ge jō-le ie-t'e. 自動詞文
1SG door-LOC head-INS hit-INTR.1SG
私はドアに頭をぶつけた.

(7) は他動詞文だが, 打撃を受けた人間が目的語となり, 身体部位は **-me** (ここでは身体部位標識 (BDYP) と呼んでおく) と与格 **-ŋin** を伴う. (8) は自動詞文であり, 着点が所格 **-ge/-ke**, 身体部位が具格 **-le/-e** を共なる. なお, 調査項目は (5c) と (5d) によって「意志」の有無による表現の違いを見ることがになっているが, (8) はこの点に関して不明である.

2.3 知覚 2A vs. 2B

- (9) 調査項目
- あそこに人が数人見える.
 - 彼はその家を見た.
 - 誰かが叫んだのが聞こえた.
 - 彼はその音を聞いた.
- (10) a. id'i juō-te-met, šoromo juō-te-met. 他動詞文
now see-FUT-TR.2PL person see-FUT-TR.2PL
(あなたたちは) 今度は見えるだろう, 人間が見えるだろう. (Nikolaeva 1989: II-24)
- b. tāhile omo-s'e oxotnik-pe-ŋin jed-ej-nu-l'el
then be.good-PTCP hunter(Rus.)-PL-DAT be.seen-PFV-IPFV-INFER(-INTR.3SG)
qajin=ure. 自動詞文
when=INDEF
それから (地の主は) よい猟師にもときどき見える. (Nikolaeva 1989: II-12)
- (11) a. tudel met-kele ahī juō-m. 他動詞文
3SG 1SG-ACC secretly look-TR.3SG
彼は私をこっそり見た.
- b. taŋ köjpe-p laŋi juō-d-e-t'. 自動詞文
that man-PL to look-DETR-PFV-INTR.3SG
(彼は) その男たちの方に目を向けた. (Nagasaki 2023: 134)

- (12) a. Peter Berbekin medī-m aldud'e-l-e. ... 他動詞文
Peter Berbekin hear-TR.3SG curse-AN-INS
ピエテル・ベルベキンが罵倒の言葉を耳にした. (Nikolaeva 1989: I-104)
- b. met-in tudel t'uḡre-gi medi-t' 自動詞文
1SG-DAT 3SG whistle-POSS.3 be.heard-INTR.3SG
私は彼が口笛を吹くのを耳にした.
- (13) a. lem-dik medi-me? — met jaqte-lek medi-me. 他動詞文
what-FOC listen-OF.2SG 1SG song-FOC listen-OF.1SG
(あなたは) 何を聞いているのか? — 私は歌を聞いている.
- b. mež-žie-l'el qaqide n'āt'e-n'-u-t touke
listen-DETR-INFER(-INTR.3SG) to.where face-PROP-E-SS dog
oj-d'e, taqide mež-žie-l'el. 自動詞文
bark-DETR(-INTERR.3SG) there listen-DETR-INFER(-INTR.3SG)
(彼女は) 耳を傾けた, どこへ向かって犬が吠えているのか, そちらへ耳を傾けた.
(Maslova 2001: 137)

他動詞の juō- 「見える・見る」, medi- 「聞こえる・聞く」は受動知覚か能動知覚かを区別しない. 一方, 対象を主語とする自動詞 jed- 「見える」および medū- 「聞こえる」は受動知覚を表し, 経験者を与格 -ḡin で示すことができる. また, 派生自動詞の juō-de- 「聞く」および mež-že- 「聞く」は能動知覚を表し, 対象は方向として示される.

2.4 (知覚 2A) 発見・獲得・生産など

- (14) 調査項目
- a. 彼は(なくした)鍵を見つけた.
- b. 彼は椅子を作った.
- (15) tudel mēmē-n t'uḡe-k nū-mele. 他動詞文
3SG bear-GEN track-FOC find-OF.3SG
彼はクマの足跡を見つけた.
- (16) a. tamun anabuskā-ḡōn ā-k, 他動詞文
that.one dugout-ESS make-IMP.2SG
それで(その木で)丸木舟を作れ. (Nagasaki 2023: 84)
- b. d'e tabud-e anabuskā-le ā-m. 他動詞文
INTJ that.one-INS dugout-INS make-TR.3SG
(彼は)それで丸木舟を作った. (Nagasaki 2023: 111)
- c. šā-get loška-lek ā-mele. 他動詞文
tree-ABL spoon-FOC make-OF.3SG
彼は木でスプーンを作った.

他動詞 ā-「作る」は材料を目的語とすることも, 生産物を目的語とすることもある. 材料が目的語の場合, 生産物は様格 -ŋōn によって示され, 生産物が目的語の場合, 材料は具格 -le/-e や奪格 -get/-ket によって示される.

2.5 追及

(17) 調査項目

- a. 彼はバスを待っている.
- b. 私は彼が来るのを待っていた.
- c. 彼は財布を探している.

- (18) marqil' tude-gele t'uōte mie-nunnu-m, tude kelu-l-gele nume
girl 3SG-ACC always wait-HBT-TR.3SG 3SG:GEN come-AN-ACC house
jekl'iet. 他動詞文
from.behind

娘は彼をいつも待っていた, 彼が狩りから帰ってくるのを. (Nikolaeva 1989: II-6)

- (19) kiel'ō-d'e t'ilge-k aŋt'i-mele, lot'il piedet-tin. 他動詞文
be.dry-PTCP branch-FOC look.for-OF.3SG fire burn-PURP
(彼は) 乾いた枝を探した, 火を起こすために.

2.6 知識 1

(20) 調査項目

- a. 彼はいろいろなことをよく知っている.
- b. 私はあの人を知っている.
- c. 彼には XX 語が (独逸語, 中国語, ...) が分かる.

- (21) qadun-ge lejdī-mek tātmie-j t'uge? 他動詞文
where-LOC know-TR.2SG be.like.that-PTCP track
(お前は) どうしてこんな道を知っているのか? (Nagasaki 2023: 123)

- (22) adiŋ šoromo-gele t'umut lejdī-ŋā. 他動詞文
that person-ACC all know-PL:TR.3
その人を皆が知っている.

- (23) kukkī vosemnadtsat' nodo ažū-k lejdī-mele. 他動詞文
cuckoo eighteen(Rus.) bird language-FOC know-OF.3SG
カッコウは 18 の鳥の言葉を知っていた. (Nikolaeva 1989: I-26)

2.7 知識 2

(24) 調査項目

- a. あなたはきのう私が言ったことを覚えていますか?

b. 私は彼の電話番号を忘れてしまった.

(25) a. tet chto-nibud' kuŋleme lejdi-mek? 他動詞文

2SG something(Rus.) INDEF:what know-TR.2SG

あなたは何か覚えていますか? (Nagasaki 2023: 172)

b. eduön önme-ge l'i-ŋi-k. 他動詞文

this.one mind-LOC keep-PL-IMP.2

このことを覚えておきなさい. (Nikolaeva 1989: I-42)

c. tol'ko leŋ-d-öl'i-lek önme-ge pon'ö-l met-ke. 自動詞文

only(Rus.) eat-DETR-DES-E-FOC mind-LOC remain-SF 1SG-LOC

ただお腹を空かせていたことだけを覚えている, 私は. (Nagasaki 2023: 125)

(26) “ē t'ül'd'i-pulut,” mon-i, “met nume-ge t'ohoje-lek joŋrā-l'el-me. 他動詞文

INTJ ogre, say-INTR.3SG 1SG house-LOC knife-FOC forget-INFER-OF.1SG

「ああ人喰い鬼よ」(彼は)言った「私は家にナイフを忘れてしまったようだ」(Nagasaki 2023: 37)

他動詞 lejdi- は「知っている」のほかに「覚えている」という意味も表す. 他に, önme-ge l'i- 「直訳: 記憶 (心) に保つ (持つ)」, önme-ge pon'ö- 「直訳: 記憶 (心) に残っている」という慣用句も「覚えている」と訳すことができる.

2.8 感情 1

(27) 調査項目

a. 母は子供たちを深く愛していた.

b. 私はバナナが好きだ.

c. 私はあの人が嫌いだ.

(28) tudel met-kele anure-m. 他動詞文

3SG 1SG-ACC love-TR.3SG

彼は私のことが好きだ.

(29) šūkādie tude mieste-gele anure-m. 他動詞文

pike 3SG:GEN place-ACC love-TR.3SG

カワカマスは自分の住処が好きだった. (Nikolaeva 1989: I-42)

(30) tudel met-kele inabaluhi-m. 他動詞文

3SG 1SG-ACC hate-TR.3SG

彼は私のことを嫌っている.

2.9 感情 2

(31) 調査項目

a. 私は靴が欲しい.

b. 今, 彼にはお金が要る.

(32) tudel lem-dik erd'uö-re-mle? 他動詞文

3SG what-FOC want-APPL-OF.3SG

彼は何を欲しがっているのか?

(33) met-in poŋdo nadaŋō-j. 自動詞文

1SG-DAT money be.needed-INTR.3SG

私はお金が要る.

nadaŋō-「必要である」は, ロシア語 nado「必要だ」とコピュラ ŋō- から成る自動詞であり, 所謂「経験者」が与格 -ŋin によって示される.

2.10 感情 3

(34) 調査項目

a. (私の) 母は (私の弟が) うそをついたのに怒っている.

b. 彼は犬が恐い.

(35) a. tudel met-in joŋon'e-j. 自動詞文

3SG 1SG-DAT be.angry-INTR.3SG

彼は私に怒っている.

b. tudel met-kele joŋon'e-rī-m. 他動詞文

3SG 1SG-ACC be.angry-APPL-TR.3SG

彼は私に怒っている.

(36) met töwke inji. 他動詞文

1SG dog be.afraid.of(-TR.1SG)

私は犬が恐い.

joŋon'e-「怒っている」は自動詞であり, 感情の向けられる対象は与格 -ŋin によって示される. この自動詞から適用接尾辞 -rī によって派生された他動詞 joŋon'e-rī- では, 感情の向けられる対象が目的語となる.

2.11 関係 1

(37) 調査項目

a. 彼は父親に似ている.

b. 海水は塩分を含んでいる.

(38) tude n'āt'e-gi met n'āt'e titimie-j. 自動詞文 (コピュラ文)

3SG:GEN face-POSS.3 1SG face be.like-INTR.3SG

彼女は顔が私に似ている.

- (39) t'āj saxar-n'e-j. 自動詞文
tea sugar(Rus.)-PROP-INTR.3SG
そのお茶には砂糖が入っている。

(38)の動詞 *titimie*-「～のようである・～に似ている」は主格（ゼロ格）名詞を補語とする点で、コピュラ *ŋō~ō-* と似た振る舞いをする。(39)は所有接尾辞 *-n'e/-n'* によって名詞から派生された動詞を用いた自動詞文である。

2.12 関係 2

- (40) 調査項目
- a. 私の弟は医者だ。
b. 私の弟は医者になった。
- (41) a. t'art'aqan alme ō-l'el, ... 自動詞文（コピュラ文）
Charchaxan shaman COP-INFER(-INTR.3SG)
チャルチャハンはシャマンだった。(Nikolaeva 1989: I-48)
- b. tudel momušā alme-lek, anil alme-lek. 名詞述語文
3SG longnose.sucker shaman-PRED fish shaman-PRED
彼、ロングノーズサッカー（魚の名前）はシャマンだった、魚のシャマンだった。(Nikolaeva 1989: I-46)
- (42) pierī-n'e-j=ben-ŋōt kude-j. 自動詞文
wing-PROP-PTCP=NMLZ-TRANS become-INTR.3SG
（彼は）翼を持つ者（鳥）になった。(Nagasaki 2023: 98)

2.13 能力 1

- (43) 調査項目
- a. 彼は車の運転ができる。
b. 彼は泳げる。
- (44) a. tudel jard'i-din lejdi-m. 他動詞文
3SG swim-PURP know-TR.3SG
彼は泳げる。
- b. tudel jard'i-din lorqaj-m. 他動詞文
3SG swim-PURP be.unable.to(-TR.3SG)
彼は泳げない。

行為の可能・不可能の表現に用いられる *lejdi*-「知っている」、*lorqaj*-「できない」はどちらも他動詞である。前者は能力を有するという意味での可能を表し、後者は「やろうとしてもうまくいかない」という意味をもつ。両者とも、目的副動詞形を述語とする従属節によって行為が示される。

2.14 能力 1

(45) 調査項目

- a. 彼は話をするのが上手だ.
- b. 彼は走るのが苦手だ.

(46) tudel omot' jaqtā-nu-j.

3SG well sing-IPFV-INTR.3SG

彼は歌うのが上手だ.

(47) jert'ebā-le t'emedej-delle, qahiel parnāgele šörileš-u-t eris' šörileš-u-m

grebe-INS finish-CVB loon crow-ACC paint-E-CVB badly paint-TR.3SG

カイツブリを終えてから, アビはカラスに色を塗ろうとして, 下手くそに色を塗った.

(Nikolaeva 1989: I-28)

「上手い」「下手だ」は副詞を用いて表される.

2.15 移動

(48) 調査項目

- a. 彼は学校に着いた.
- b. 彼は道を渡った／横切った.
- c. 彼はあの道を通った.

(49) tudel nume-ge jaqa-j. 自動詞文

3SG house-LOC arrive-INTR.3SG

彼は家に着いた.

(50) a. met t'uge-ge šajde qon-d'e. 自動詞文

1SG road-LOC across go-INTR.1SG

私は道を渡った.

b. tudel unuŋ-ge t'ohā-j. 自動詞文

3SG river-LOC cross.a.river-INTR.3SG

彼は川を渡った.

(51) tudel t'uge-gen qon-i. 自動詞文

3SG road-PROL go-INTR.3SG

彼は道を通って行った.

移動動詞の到着点は所格 -ge/-ke によって, 通り道は所格 -ge/-ke あるいは沿格 -gen/-ken によって示される. 「川を渡る」に対しては専用の自動詞がある.

2.16 感覚 1

(52) 調査項目

- a. 彼はお腹を空かしている.
- b. 彼は喉が渴いている.

(53) met leŋ-d-ol'-d'e. 自動詞文
1SG eat-DETR-DES-INTR.1SG
私はお腹が空いている.

(54) met ōž-ol'-d'e. 自動詞文
1SG drink-DES-INTR.1SG
私は喉が渴いている.

2.17 感覚 2

(55) 調査項目

- a. 私は寒い.
- b. 今日は寒い.

(56) met-ke puge-t'. 自動詞文
1SG-LOC be.hot-INTR.3SG
私は暑い.

(57) pude t'ie-t'. 自動詞文
outside be.cold-INTR.3SG
外は寒い.

(58) pen t'elkie-j. 自動詞文
thing get.cold-INTR.3SG
寒くなった.

寒暖の表現では、主語が明示されないことが多いが、(58)のように *pen* を虚辞的な主語とすることができる（ここでは *thing* とグロスを付けた）。感覚を有する主体は、(56)に見るように、所格 *-ge/-ke* によって示される。

2.18 (社会的) 相互行為 1

(59) 調査項目

- a. 私は彼を手伝った／助けた.
- b. 私は彼がそれを運ぶのを手伝った.

(60) a. met tet-ul qamie-t. 他動詞文
1SG 2SG-ACC help-FUT(-TR.1SG)
私はあなたを手伝おう.

- b. met tet-in qamie-d'e-t't'e. 自動詞文
1SG 2SG-DAT help-DETR-FUT-INTR.1SG
私はあなたを手伝おう。

- (61) met tet-ul qamie lot'il t'ine-din. 他動詞文
1SG 2SG-ACC help(TR.1SG) firewood chop-PURP
私はお前を手伝った, 薪を割るのを。

qamie-「手伝う・助ける」は他動詞である。この他動詞から派生された自動詞 qamie-d'e- では, (60b) に見るように, 対象が与格 -jin によって示される。また, 行為の部分は目的副動詞形を述語とする従属節として示される。

2.19 (社会的) 相互行為 2 (言語行動)

- (62) a. 私はその理由を彼に訊いた。
b. 私はそのことを彼に話した。

- (63) a. tudel tet-kele jowlet'-u-m. 他動詞文
3SG 2SG-ACC ask-E-TR.3SG
彼はあなたのことを訊いた。

- b. tude-get joulus'-nu-l'el-ŋam: "qadun-get kie-s'ek? kin
3SG-ABL ask-IMPV-INFERR-PL:TR.3 where-ABL come-INTR.2SG who
ŋō-k?" 他動詞文
COP-INTERR.2SG
(彼らは) 彼に尋ねた「(お前は) どこから来たのか? (お前は) 何者か?」(Nikolaeva 1989: II-34)

- (64) a. t'ul'd'i pundu-t. 他動詞文
tale tell-FUT(-TR.1SG)
(私は) 昔話を話してあげよう。(Nagasaki 2023: 133)

- b. id'i met tet-ul ket'i-l-ol-gen t'umu šoromo-ŋin pundu-k 他動詞文
now 1SG 2SG-ACC bring-E-RN-PROL all person-DAT tell-IMP.2SG
これからは私がお前を(ここへ)運んで来たことをすべて人々に話せ。(Nagasaki 2023: 100)

jowlet'-「尋ねる」, pundu-「話す」はどちらも他動詞であり, 話の内容を目的語あるいは引用の形で示す。尋ねる相手は奪格 -get/-ket によって, 話す相手は与格 -jin によって示される。

2.20 再帰・相互

- (65) 私は彼に会った。

- (66) a. met tude-n'e chasto n'e=nū-nu-je. 自動詞文
1SG 3SG-COM often(Rus.) RECP=find-IMPV-INFERR.1SG
私は彼にしばしば会う。

- b. met tude-n'e chasto n'e=nū-nu-jli. 自動詞文
1SG 3SG-COM often(Rus.) RECP=find-IMPV-INTR.1PL
私は彼にしばしば会う。
- c. met tudel irkill'eni juö-nu. 他動詞文
1SG 3SG often see-IPFV(-TR.1SG)
私は彼にしばしば会う。

相互的な行為としての「会う」の表現では、他動詞 *nug-~nū-* 「見つける」の前にクリティック *n'e=* が置かれ、自動詞化する。会う相手は共格 *-n'e* によって示される。他動詞の *juö-* 「見える・見る」も「会う」という意味合いで使うことができる。このときは、互いに対面するというよりは、相手を見かけるということである。

参考文献

- Maslova, Elena. (ed.) 2001. *Yukaghir Texts*. Wiesbaden: Harrassowitz.
長崎郁. 2014. 「コリマ・ユカギール語における名詞項標示」『北方言語研究』4. 19–31.
Nagasaki, Iku. (ed.) 2023. *Kolyma Yukaghir Texts*. (Materials of Siberian Languages 8). Nagoya.
Nikolaeva, Irina. (ed.) 1989. *Fol'klor jukagirov Verxnej Kolymy*, I-II. Yakutsk: Yakut State University Press.

執筆者連絡先 : nagasaki.iku.j5@f.mail.nagoya-u.ac.jp

原稿受理日 : 2024 年 9 月 6 日